

平成 23 年 11 月 17 日

報道関係各位

株式会社 大建

安心して 人と自然とつながる暮らし

## これからの学生の住環境を考える

### 九州大学 学生に問う 大学生生活に必要な住環境とは

#### なつかしくて、新しい 下宿？それともシェアハウス？

株式会社大建（本社：福岡市早良区 代表取締役松尾 憲親）は、九州大学伊都キャンパス周辺に、数多くのワンルームタイプの賃貸住宅が増加しており、そこに住む学生達には今後どのような周辺環境が整えば、安心した学生生活が送れるのか、また、学生が望む豊かな住環境とシェアという考え方に注目したワークショップを行います。

#### —これからの学生の住環境を考えるワークショップ—

##### 【目的】

本当に豊かな住環境とは？

現在、学生が生活する住環境と本来あるべき学生の住環境。

学校以外にあるコミュニティ形成、防犯や災害時の安全など、個として生活することについてどう考えるか。豊かな住環境にあるシェアルームやシェアハウスという発想についての率直な意見を聞く。

実際の広さをロープ等で表現し、体感をしながら、現状の学生住環境とシェアハウスにある生活の可能性を発見するワークショップ。

場所：九州大学伊都キャンパス 伊都図書室 オープンミーティングルーム

参加者：九州大学学生 (i-top メンバーから)

○11月18日(金) 18:30~20:00【議題】

- ・現在の学生住環境について確認
- ・学生が必要とする間取りや広さ・こだわりについて
- ・間取りや広さに対しての家賃についてどう考えるか  
(例えば家賃1万円の場合にどこまでシェアできるか?)
- ・学生のシェアルームという考え方

#### ○2回目

11月下旬 予定

『シェアについて考える』

##### 【議題】

- ・シェアする生活のどこに可能性があるか？
- ・シェアする生活の中にあるメリット・デメリット

- ・荻浦ガーデンサバークにあるコモンハウスの活用方法（共有施設）
- ・コモンハウス・コモンハウスで行うアルバイトについて提案

### ○3回目

12月初旬 予定

『マネジメントについて考える』

#### 【 議 題 】

- ・シェアルームについて、2回目の意見を反映させた意見交換、シェアールの作成
  - ・シェアール（案）の再確認→ガイドラインとルールブックの作成
  - ・家賃と間取りの決定
  - ・コモンハウスの使用メニュー表作成
- ☆より具体的な地下室の使用方法を確定  
（ルールブックの作成：借りる側と貸主双方の立場から考える。）

### 【荻浦ガーデンサバークとは】

#### ■住宅コンセプト

少子高齢化による単独世代の増加や災害時など、様々な場面で地域コミュニティの必要性が問われています。『荻浦ガーデンサバーク』は、サステナブルコミュニティというコンセプトのもと、九州大学との産学協同事業建設中の住宅です。

**家族の成長とライフスタイルの変化に柔軟に対応できるオープンプランニング**  
空間面積最大 160㎡の拡張性／木造 2F(92㎡) +地下(46㎡)+屋根裏収納(22㎡)

大建では、周辺の風土や、環境を様々分野から調査し、周辺地域の発展に結びつけたいと考えております。



#### ●交通機関

- ・ JR 筑肥線 美咲が丘駅  
徒歩 9 分（天神まで 36 分・博多駅まで 41 分）
- ・ JR 筑肥線 筑前前原駅  
徒歩 12 分（天神まで 32 分・博多駅まで 37 分）
- ・ 糸島市コミュニティバス  
荻の浦停 徒歩 2 分
- ・ 前原 IC 車 約 6 分

この資料に関するお問い合わせ先

株式会社 大建（荻浦ガーデンサバーク） おぎのうら.com

ランドマネジメント事業部 江島 橋本

TEL 092-851-3900 FAX 092-851-3947 E-MAIL [info@d-ken.jp](mailto:info@d-ken.jp)

株式会社大建

〒814-0031 福岡市早良区南庄2丁目9番12号

TEL:092-851-3900(代表) FAX:092-851-3947 E-Mail:[info@d-ken.jp](mailto:info@d-ken.jp)(代表)